

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	合同会社知養 知養 かもん丸吉見		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 9日		~ 2026年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2026年 1月 9日		~ 2026年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	旧豊浦郡在住の児童の受け入れを積極的に行っていること。	受け入れの際に障害の種別や居住地に関わらず、どのような態勢であれば受け入れ可能か前向きに検討している。	送迎範囲の拡大。送迎車両の追加。 居住地が遠方であれば、保護者、相談支援事業所の理解、協力の下、中間地点での送迎を実施していく。
2	専門的支援の実施。	グループ活動の良さを活かした活動の設定。	活動内容の充実。
3	子どもの発達段階、特性に配慮し、通所児自身がスケジュールを作成することにより、見通し不安を払拭し、自発的に活動できる。	自己決定権を尊重し、個別活動と集団活動を組み合わせられるよう配慮している。 教材、玩具の使用順を含め、通所児が自身の権利を行使する際に、他者の権利を侵害しないよう配慮している。	自己発信力の弱い児に適切なスケジュールを提示できるよう、日常的に細やかなアセスメントを行い、興味関心を把握すると共に活動の選択肢を適切に提供していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	賃貸の築古物件のため、バリアフリーのための方策が困難であること。そのため肢体不自由児の受け入れが困難であること。	物件の立地上に由来する要因。 賃貸物件のため、バリアフリーのための環境整備に制約があること。	スロープを含め、入退室や移動のための環境整備を要する。
2	支援内容の発信等情報提供が弱い点。	ホームページやSNSの活用が十分できていないこと。	連絡帳やSNSを活用し、情報発信を適切に行うこと。
3	比較的高齢の職員が多数を占めていること。そのことにより活発な通所児の活動及びニーズに対応しきれないこと。	多職種による職員採用によるもの。 職員の離職に伴うもの。	活発な通所児の活動及びニーズに十分対応できる職員の採用、職員配置。